

IUHW

The gazette of International University of Health and Welfare

vol. **62**
July 2005
増大号



特集 1

新・国際医療福祉大学附属熱海病院 7月1日、オープン

特集 2

医療福祉ジャーナリズムの可能性 対談 開原成允大学院院長 大熊由紀子教授

平成17年4月、大学院に医療福祉ジャーナリズム分野開設

大川キャンパスレポート 第1回

新規着任教員紹介 平成17年度②

Topics

第10回運動会、平成16年度国家試験合格率・7年連続100%の理学療法士ほか
オープンキャンパスのお知らせ

施設インフォメーション

附属三田病院・国際医療福祉病院・
山王病院・高木病院

◆連載エッセイ「映画の心と眼」最終回
刻み込まれる《音》の表情

客員教授 諏訪 淳



新・国際医療福祉大学附属熱海病院 七月一日オープン

国際医療福祉大学附属熱海病院の新病院が竣工し、七月一日に開設した。一日までに旧病棟からの引越しや入院患者様の移動を終え、二日から診療を開始した。開設に先立ち、六月二日に内覧会及び竣工記念祝賀会を新病院で開催した。また六月一九日には一般向けの内覧会を行い、地域の方々をはじめ八〇〇名以上の方に新病院をご覧いただいた。

広さは二倍 各病棟には温泉

附属熱海病院は、平成十四年七月に国立熱海病院を継承し、東伊豆の中核的病院として地域に貢献してきた。継承時の建物は狭く老朽化が著しかったため、開設と同時に新病院の新築工事に着手し、三年が経過した。海沿いの急斜面に隣接して建築するため、山留杭打設等の基礎工事に多くの時間を費やしたが、工事は順調に進み、無事竣工した。

新病院は旧病院の二倍強の床面積を持ち、相模湾を前面に望む絶好のロケーションで、明るく開放感を満喫できる空間となっている。院内には湯量豊富な二つの源泉を有し、この温泉源を利用して各病棟の浴室に温泉を供給している。また、各フロアごとに機能を明確に分離し、わかりやすい導線となるように配慮されている。東海地震に備え免震構造を採用し、災害時に地域の救急拠点としての役割も果たしていく。

医療の充実、アメニティにも配慮

診療科目は、五月に脳神経外科、七月には精神科、形成外科を新たに開設し、今後は産科、歯科口腔外科の開設も予定している。医療機器についても、64列マルチスライスCTなどの最新かつ高度な機器を導入し、専門性の高い医療を実践する。また、新たに予防医学センターを設けるなど、今後も救急医療から予防医学までの体制を整備していく。

一方、約四七〇㎡ものリハビリテーション室や透析室を備え、広々とした病室や個室、レストランなどのアメニティにも配慮し、患者様本位の療養環境を提供する。

新しくなった実習・研究施設

地下には研究室や実験室などが設けられ、臨床研修指定病院、本学学生の実習施設、大学院サテライトキャンパスとして、教育・研究の拠点となり、一層充実した機能を果たしていく。会議室では、これまで同様、地域の皆様を対象とした公開講座を実施する。

（附属熱海病院総務課）

国際医療福祉大学附属熱海病院と病棟の窓から望む相模湾と真鶴半島。



沿革

明治44年(1911年)5月	東京第一衛戍病院熱海分院として創設
昭和13年(1938年)2月	臨時東京第一陸軍病院熱海分院となる
昭和20年(1945年)12月	終戦により厚生省に移管、国立東京第一病院(現・国立国際医療センター)熱海分院として発足
昭和25年(1950年)7月	国立東京第一病院から分離独立し、国立熱海病院に改称
平成14年(2002年)7月	国際医療福祉大学が国立熱海病院を継承し、附属熱海病院として開院
平成17年(2005年)7月	新病院開院

写真で①

みる新病院

ATAMI's PHOTO Part1



ラウンジには女優の田中好子さんやタレントの片岡鶴太郎氏の絵が飾られている。



「トロピカル」をテーマにデザインされた3階のラウンジ。



透析室。天井には、花の絵などが描かれている。

外来カウンターと待合ホール(右)、広々としたエレベーターホール(下)。



附属熱海病院内覧会及び竣工祝賀会

六月一日(土)、附属熱海病院が日頃からお世話になっている方々を招いて、新病院の内覧会と竣工を記念する祝賀会を開催した。医局や行政関係者、各分野の関係者、患者様など五〇〇名余りの方々にお集まりいただいた。祝賀会は、三階の待合・メインエントランスホールをメイン会場に行われた。

まず主催者を代表し、高木邦格理事長が「国立熱海病院を継承以来、古い病院で迷惑をおかけしてまいりましたが、ようやく新病院が竣工し、地域の基幹病院として相応しい設備が整いました。これまで古い病院で士気を落とさずに、附属熱海病院の基礎をつくってこられた優秀な医師をはじめとするすべてのスタッフに感謝申し上げます。これから地域の皆様と手を携えて運営し、一〇年後、二〇年後に感謝されるような施設にしたい」と



祝賀会では鏡開きの後、熱海市医師会の小坂博会長(中央)のご発声で乾杯した。

挨拶した。また谷修一学長は、国立病院継承当時の話も交えながら、「今まで以上に地域住民や行政の温かいご支援をお願いしたい」と挨拶した。

来賓を代表して、川口市雄熱海市市長は、「今まで、施設は古くても医師や看護師の対応が親切だと市民の反応がよかった。その上、このような素晴らしい病棟ができた。充実した病院になるようお願いしたい」と期待を寄せた。鏡開きに続いて、熱海市医師会の小坂博会長の音頭で乾杯。その後は弦楽四重奏の生演奏をバックに飲食しながら歓談した。タレントの片岡鶴太郎氏や女優の田中好子さんから院内に寄贈された絵画の紹介もあり、祝賀会に華を添えた。

祝賀会の前後に行われた内覧会では、職員が各フロアで説明や誘導を行い、来賓の方々は熱心に見学された。

最上階の八階にあり、最も広いスイートタイプの病室である特床室、診療開始予定の産科病棟にあるLDR室、分娩室、NICU、GCU、そして病室の各階にある温泉浴室などが特に注目を集めた。また、がん診断装置として高い評価のあるPET-CT、静岡県で初めて導入される64列マルチスライスCTなどの医療機器が注目を浴びた。

新病院開設にともなって整備された、人間ドックや健康診断を本格的に実施する予防医学センターや、総合リハビリテーション施設(A)の施設認定となるリハビリテーション室などにも大きな関心が寄せられた。

(附属熱海病院総務課)



「胸部用血管造影装置（アンギオ）装置」。従来の頭腹部用に加え、胸部用を増設。より短時間でより精密な心臓の検査・治療が可能に。

「デジタルマンモグラフィ（乳房X線撮影）システム」。静岡県初の位相コントラスト方式。厚生労働省によるマンモグラフィ健診のガイドラインをクリアし、乳がんの健診に最適。



「64列マルテスライスCT」（X線コンピュータ断層撮影装置）。64列の検出器を備えた機種は世界最新鋭で、静岡県初の導入となる。高速で精細な撮影ができ、特に心疾患検査に有効。

最新医療機 新病院の

ATAMI's PHOTO Part3



「1.5テスラMRI」（超伝導磁気共鳴イメージング装置）。磁場強度1.5テスラは国内最高レベルで、検査時の動作音が世界一静かな機種を導入。脳血管障害の発見に威力を発揮する。



PET（陽電子放射画像診断装置）とCTを一体化した「PET-CT」。微小ながんも発見可能で、予防医学部門で活躍。静岡県東部地区で2番目の設置となる。平成17年中に稼働予定。



8階病棟。院内は1～3階が診療エリア、4～8階が病棟、地下1、2階が管理エリアとなっている。



病棟の各フロアには、敷地内の源泉による温泉浴室を備えている。雄大な相模湾を一望できる大浴槽と介助しやすい小浴槽があり、かけ流しによる供給のため快適に利用できる。



スイートタイプの特病室（819）は最も広く、高級感のあるシックな雰囲気。酸素配管や吸引設備は、インテリアに調和させた木製のコンソールに隠れて目立たない。



広めの4床室（506）は、間仕切り家具により個室のイメージを演出。ほかに、トイレを広めにしつらえた4床室もあり、患者様の状態に合わせて病室を選択できる。

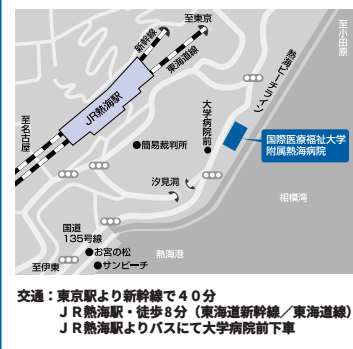
写真で みる新病院

ATAMI's PHOTO Part2

FLOOR MAP

8F	病室／透析／ラウンジ／浴室
7F	病室／デイルーム／浴室
6F	病室／デイルーム／浴室
5F	病室／デイルーム／浴室
4F	病室／分娩室／新生児室／NICU室／GCU室／LDR室／浴室
3F	受付／診察室／薬局／メディカルクラブ
2F	予防医学センター／検査室／放射線室／診察室／リハビリテーション室
1F	手術室／ICU／救急外来／診察室
B1F	レストラン／売店／医局／会議室
B2F	図書ラウンジ／サテライトキャンパス／研究室／研修室／実験室

附属熱海病院の概要



住所：〒413-0012 静岡県熱海市東海岸町13-1
TEL：0557-81-9171 FAX：0557-83-6632
URL：http://atami.uhw.ac.jp

建物：鉄筋コンクリート免震構造（地下2階、地上8階）
延床面積：23,230㎡ 敷地面積：26,046㎡

病床数：一般病床265床、感染症病床4床
診察室数：40室 手術室：5室
施設基準：一般病棟入院基本料I群-2、言語聴覚療法（I）、総合リハビリテーション施設（A）ほか

診療科目

内科、精神科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科
センター方式：予防医学センター（人間ドック、健康診断）

診療のご案内

外来診療日：月曜日～土曜日（日・祝日を除く午前・午後）
受付／診療時間：午前8:30～12:00／9:00～13:00
午後13:00～16:30／14:00～17:00

各種認定

管理型臨床研修指定病院、救急指定病院
日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本肝臓学会認定施設、日本外科学会外科専門医制度関連施設、日本内分泌学会内分泌代謝科認定教育施設、日本小児科学会小児科専門医研修施設、日本外科学会認定医制度修練施設、日本老年医学会認定施設、日本整形外科学会専門医制度研修施設、日本眼科学会専門医制度研修施設、日本超音波医学会認定超音波専門医制度研修施設、日本肥満学会認定肥満症専門病院、日本産産期・新生児医学会周産期新生児専門医制度研修施設、日本皮膚科学会専門医制度研修施設

☆7月より開設しました。
●精神科
●形成外科

- ※1 第1・3・5金曜日の午前診療致します。
- ※2 皮膚科午後診療は、原則予約制です。
- ※3 乳児健診は金曜日の午後2時～午後3時30分、予防接種は火曜日の午後2時～午後3時30分に行なっています。（予約制）土曜日午後の2診は肝臓・消化器外来となります。
- ※4 耳鼻咽喉科外来の月曜日午後は補聴器外来、木曜日午後はめまい・難聴外来、金曜日午後はめまい外来で予約制です。
- ※5 婦人科の水曜日と木曜日の午後は原則予約制です。
- ※6 3名のうち、手術対応でない医師が外来を行います。
- ※7 泌尿器科の午後は検査予約患者優先のため、一般診療の方はお待ちいただきます。

《受診のご案内》
受付時間 診療時間
午前の部 8:30～12:00 9:00～13:00
午後の部 13:00～16:30 14:00～17:00
診察日 月曜日～土曜日 但し日曜日、祝祭日は休診日
電話番号 0557(81)9171
国際医療福祉大学附属熱海病院
※急患の場合は随時受け付けておりますので、ご相談下さい。

日本初の医療福祉ジャーナリスト
養成コース

開原 国際医療福祉大学の大学院では、平成十七（二〇〇五）年度から、医療福祉ジャーナリズムという新しい分野を設けて、大熊先生に分野の責任者になっていただきました。その紹介を兼ねまして、大熊先生と対談させていただきます。

いま日本では、大学に医療ジャーナリストの養成コースはないですね。

大熊 そうですね。ジャーナリズム一般を論ずるコースはあるのですが、医療とか、さらに福祉になるとないと思います。

開原 アメリカの大学では、ジャーナリズムのコースは一般的に感じますが、大熊 そうですね、さまざまな人が勉強していますね。

こちらの大学の水巻中正先生は読売新聞の社会保障部をつくられた方ですが、水巻

先生も私も養成コースが日本で成立するだろうかと疑問に思っていたのです、二人とも新聞社出身なものですから。新聞記者は、とにかくまず、地方支局へ行って、サツ（警察）まわりをして、市役所や県庁担当や裁判を経験する。その実績をみて上の者が、配属先を選ぶのです。医療ジャーナリズムを専門に勉強した人が新聞社に入ってきてても、どこか部署に配属されるかもわからない。ここで養成した人に就職先を見つけてあげられるだろうかと心配でした。けれど、もっと幅広いものをお考えであると同って、じゃあ、やってみたらおもしろいかなと思ひまして。

医療ジャーナリストの存在は確かに

開原 日本社会は、一般論としてゼネナリスト型なのです。政府の役人でも専門職は育ちにくくて、ゼネラリストの方

が偉くなっていく

という社会だったわけですが、少しずつ変わっていくような気がします。いま医療ジャーナリストはいるのでしょうか。

大熊 医療について言いますと、日本医学ジャーナリスト協会と医療ジャーナリスト懇話会の二つがあり、手探りで育ち上がってきた人たちが会をつくっています。誰かが育ててくれたというよりは、「医療専門記者などいらない」と言われながらも、自分で道を切り開いて来た人々です。ですから、果たして育てられるものだろうかという心配がありました。



開原成允教授
(かいばる・しげと)

国際医療福祉大学大学院院長。東京大学医学部卒業。内科学専攻、医学博士。フルブライト留学生として米国 Johns Hopkins Hospital に留学、臨床と研究に従事。東京大学医学部教授、中央医療情報部長を定年退職後、国立大蔵病院院長。現在、副学長兼務、東京大学名誉教授、厚生労働省介護予防サービス評価委員。

開原 そういう人たちが存在しているということは、少しずつ専門家として認められるようにはなってきたのですね。

病院等で働く人にも必要な医療ジャーナリズム的手法

大熊 結果的にこの二つの会には、製薬会社の方などが随分入られました。私たちが考えていた新聞社だけでなく、出版社やテレビ局、医療機関、製薬会社などでアメリカ並みに医療ジャーナリズム的な手法とか技を身に付けた人が必要とされているのだな、という気がしています。開原 私は今まで取材される側にいたのですが、ほとんど医療福祉の知識もない社会部記者が来て、まったく見当違い

な質問をされて、いつも腹が立って仕方がなかったのです。もう少し医療を勉強するようなジャーナリストが育つといいなと思っていたものですから、私も大学院長の立場として、対象としては、社会に出たジャーナリストに医療のことを教えるコースを作りたいと思っていました。わが大学では、日本の医療福祉の縮図みたいないろいろな講義が、この小さな空間の中で行われています。そういう教養、知識をジャーナリストが身に付けるには非常にいい場だと思います。

それだけでなく、第二に、最初から医療ジャーナリストを目指す人も育てたい。しかし、そうは言っても、テレビ局や新聞社に入るような人がすぐ育つかどうかは私もよくわかりません。

そこで第三の対象として、もう少し広く考えて、たとえば病院や大学で広報や出版のような仕事をされている方も、同じような知識を必要としているのかもしれない。そこまで広げて考えれば、医療福祉ジャーナリズムもかなり大きな需要のある分野ではないかと思っています。たとえば、私は昔、ジョンズホプキン



対談 大学院院長・開原成允教授
分野責任者・大熊由紀子教授

平成17年4月、大学院に
医療福祉ジャーナリズム分野開設

IUHW feature articles 2

医療福祉
ジャーナリズム
の可能性

特集2

ス病院にいたのですが、病院の中に大きなメディア部門があり、広報や学術的なメディアの制作をやっていました。また欧米では、医学的な挿絵を描くというのも専門職なのです。Netter という有名な挿絵画家がいて、その人の描いた挿絵は価値があるのです。ジャーナリズムと言っても、本当に幅が広いのですよ。

大熊 「患者の声」にゲスト講師で出てくださったアラジポットという団体は、アレギーの子供が読む本、そういう子供のクラス担任の先生が読む楽しい絵本をつくっています。医学的に見てもおかしくないように、また、子供が見ても恐怖心をもたず、希望を持てるようにという配慮で、イラストが描かれています。

関心を集める
ユニークな講座 開講中

大熊 開原先生のご発案で開講している

「患者の声を医療に生かす」という講座も、かなりジャーナリストティックな手法で授業を展開しています。いま、学外の聴講生に加えて、この大学院生が五〇人ほど登録していますが、単位を取らない人もレポートを書いてくれたり、すぐ出席率がよいのです。患者さんの声を医療に生かすということは、これまで医療ジャーナリズムで細々とやってきたことです。それを毎回三人、あわせて三〇人くらいの患者組織の方が教師役として登場し、医療関係者がこれだけ関心を持って聴講してくださって有難いなと思っています。

水巻先生の講座『いま、なぜ「医療ジャーナリズム」か』では、読売新聞の方がバックアップして、さまざまな部の記者が講師として来てくださっています。たとえば、文化部出身の研究員の方が映画と福祉というテーマで話されます。脳性麻痺の人の愛の物語である韓国映画や、

首から下が動かない人が最後に尊厳死を選ぶスペイン映画を流したりして、とても面白かったです。

社会部の敏腕記者が講師になって、キャンベーンや調査報道の裏話や手法などを披露した回もありました。医療ジャーナリストになるなら別として、こういうものの見方があるのかと、私も勉強になります。

開原 すでにいろいろなコースが開講されていて、すばらしいことです。

大熊 この二つは前期の医療福祉ジャーナリズムの必須科目にもなっております。

院生は面白い経歴の
歯医者さん

開原 医療福祉ジャーナリズム分野のコースは、今年はまだテストケースかなという気がするのですが、すでに入ってきた学生さんにもいましたね。

大熊 私は、いま二人の方をお話しています。医療事故と裁判をめぐる問題を修士論文にしようという人と、面白い経歴の歯医者さんです。医学博士号を持っている方で、保健所に勤めて、地域の人の歯を良くする運動をしていたのですが、説得力や、広がりや深さを持たせるにはどうすればよいかと悩んでいたところに、コースができたので来られたそ



大熊由紀子教授
(おおくま・ゆきこ)

国際医療福祉大学大学院医療福祉ジャーナリズム分野責任者。東京大学教養学科科学史・科学哲学分科学卒業。朝日新聞社社会部、科学部記者、科学部次長を経て、同社女性初の論説委員として医療・福祉・科学分野の社説を17年間担当。大阪大学大学院教授を経て、04年より現職。公衆衛生審議会委員等歴任、日本社会福祉士会理事。

教授陣は高名な
ジャーナリスト

開原 私どもの大学院には高名なジャーナリストの方がたくさんおられるわけですが、まだ十分にご活躍いただくまでには至っておりません。来年度以降、学生が増えればご活躍いただけるでしょう。大熊 教授陣はバラエティに富んでいて、医師で作家の和田秀樹先生、元N

うです。

来年度受験を希望している方は英語が堪能で、アメリカで看護師の研修をコーディネートしているのですが、医療全般を知って、よりよいコーディネートをしたという事です。また、翻訳するときに文章の技と医学の知識と両方を身に付けたいということでした。私たちの思ったことを実現してくれそうな方が受けたと言って来ている。

開原 ジャーナリズムというのは、ある意味ではコミュニケーションであり、方法論みたいなものですから、いろいろな人に来ていただいているわけですね。

HK解説委員の行天良雄先生、元毎日新聞社論説委員の戸田榮輔先生、元時事通信社「厚生福祉」編集長の松田鈴夫先生、元「日経メディカル」編集長の澤井仁先生、ニュースキヤスターの黒石祐治先生がおられます。すごい家庭教師が8人もついでくださるわけで、学生さんは大変幸せですね。いろいろな分野の方がいますので、それぞれから吸収すると、それぞれの人を超えるジャーナリストが生まれるかもしれません。また、功成り名遂げた医療ジャーナリストがここで論文を一つまとめるということもよいと思うのですけど。



開原 医療と福祉が統合して一体になること、それ自体に意味がありますね。大熊 医療と福祉の連携がとれてないことが、日本でさまざまな不幸を生み出しています。その溝が埋まるとよいですね。現場と政策も、ここでつなぐことができるといいなあと思います。

大熊 そうですね。ここに入って来られる院生さんですから、司会とかコーディネイトする能力はあると思います。私は放送大学の番組委員をしておりますが、放送大学はどちらかというと、講義形式でカリキュラムを組んで教えますよ、というスタンスです。もっと別の、自由なものが作れそうな気もいたします。テレビに経験の深い先生方のお力を借りたいと思っております。

医療を変えようとするのがジャーナリズム

大熊 開原先生はお医者さんなので、先程から、医療ジャーナリズムというのが、前面に出ています。が、福祉ジャーナリズムも大事でして…(笑)。自身は科学記者から医学記者になり、福祉記者になつてというように、三つの分野でやってきたのですが、不思議なことに、この三つの分野では人脈とか文化が全然違っているのです。お互いに知らないことがやまほどありますので、医療と福祉の両方が、一体になるようなジャーナリズムができるといいなと思っております。

開原 医療と福祉が統合して一体になること、それ自体に意味がありますね。大熊 医療と福祉の連携がとれてないことが、日本でさまざまな不幸を生み出しています。その溝が埋まるとよいですね。現場と政策も、ここでつなぐことができるといいなあと思います。

開原 少し話は変わりますが、国際医療福祉大学では衛星放送をやっています。医療福祉ジャーナリズムの教育の中には組み込まれてはおりませんが、これは大変良い教育資源ではないかと思っています。大熊 テレビジャーナリズムを見てみますと、NHKでも医療や福祉は長くて三分とか四分に縮めて、そこに押し込んで放送しています。「日かけて収録したのに、実際放映されたのは最後に涙を流しているシーンだけ」と嘆く声をよくききます。センサーショナルな部分だけが切り取られてしまう。訴えるには重要なものかもしれませんが、テレビという大きなメディアでは、もう少し落ちついた、しつとりしたものをつくってほしいです。

大熊 はい、よろしくお願いいたします。開原 わが大学の講義がNHKの番組で取り上げられるのは大変結構なことです。これからはぜひこのコースを発展させてください。

リハビリテーション学部開設から四カ月



大川キャンパスレポート

第一回



リハビリテーション学部長 太田善郎

国際医療福祉大学が栃木に開校して今年で十周年を迎え、全国的に高い評価を受けています。九州地区から栃木への受験を希望しても、保護者の経済的負担やその他を考えると諦めざるを得ないケースが多かったのではないかと思います。

西日本には、本学グループの医療福祉の専門学校が福岡市、柳川市、大川市にありますが、大学はありませんでした。大学で理学療法士、作業療法士といった医療専門

職としての能力を身に付けたいと考える受験生にとって、その開設が待たれていました。地元の強い要望もあって設置場所や時期などが慎重に検討され、建学の趣旨を栃木のみでなくさらに広めるため九州に決定されました。そして四月、リハビリテーション学部が理学療法士、作業療法士の二学科で、福岡県大川市に誕生しました。

大川市には、本学の臨床医学研究センターとして、五〇六床の高木病院があります。また同じく、近くの柳川市には柳川リハビリテーション病院、重症心身障害児(者)施設・柳川療育センターなどの介護保健施設等があり、実習を行う充実した施設が揃っており、教育環境は申し分ありません。

統 第一期生である皆さんがこれから創っていくものです。教職員と共に、良い大学に育てていきましょう。講義、実習、ボランティア、友達を通して勉強し、人とのコミュニケーションがうまくとれるよう、四年間、悔いのない学生生活を送って下さい。

合宿研修で伝えたメッセージ 四月九日に、入学式が挙行され、リハビリテーション学部はスタートしました。初年度とはいえ、受験者多数の中から一〇二名の入学者があり、出身は九州はもとより千葉、神奈川、兵庫、広島、山口、愛媛及び沖縄と予想通り全国から優秀な学生が集まりました。専任教員二六名プラス非常勤講師という体制で教育にあたっています。

新しい大学の歴史を共に創りましょう 既存の大学には学風があり、歴史と伝統がありますが、「大川キャンパスの歴史と伝

統 第一期生である皆さんがこれから創っていくものです。教職員と共に、良い大学に育てていきましょう。講義、実習、ボランティア、友達を通して勉強し、人とのコミュニケーションがうまくとれるよう、四年間、悔いのない学生生活を送って下さい。

大川こぼれ話

九州の政治、経済の中心地「福岡市・天神」から電車とバスを乗り継いで約1時間30分。福岡県大川市は、県南西部に広がる穀倉地帯、筑紫平野のほぼ中央にあり、九州で一番大きな河川、筑後川が有明海に注ぐ河口に位置しています。

16世紀の中ごろに始まったと言われる木工業はその後、大川市の基幹産業へ発展。「インテリアの街・大川」の名を全国に広めることになりました。

食文化の豊かさもこの地の特長。夏に旬を迎える大川ならではの食材と言えば「エソ」。有明海に注ぐ河川にしかないと言われるカタクチイワシ科の小さな魚で、この時期にしか食べられない貴重な食材としてグルメ通にも知られています。この地域の人々にとっては、家庭の食卓を彩ってくれる故郷の味でもあります。(福岡・広報室 原田千春)



筑後川のシンボル、昇開橋。



大熊由紀子教授の本『福祉が変わる 医療が変わる』(ぶどう社刊)、『寝たきり老人のいる国 いない国』(同)。

附属三田病院



岩崎康夫
(いわさき・やすお)

①附属三田病院脳神経外科部長・教授
②1949年2月25日
③東京大学医学部医学科卒業
④脳神経外科(小児脳神経外科)
⑤日本赤十字社医療センター脳神経外科副部長
⑦新生児・乳児の脳神経外科手術、潜在性脊髄閉鎖不全症の早期診断と治療
⑧日本脳神経外科学会評議員、第19回日本こども病院神経外科医会会長など

附属三田病院



渡辺清明
(わたなべ・きよあき)

①附属三田病院臨床検査部長・教授
②1940年1月4日
③慶應義塾大学大学院(内科学)修了、医学博士
④臨床検査医学、臨床血液学
⑤慶應義塾大学中央臨床検査部教授、検査部長
⑥疾病論
⑦臨床検査学
⑧日本臨床検査医学会会長、慶應義塾大学名誉教授

附属三田病院



芹澤剛
(せりざわ・たかし)

①附属三田病院予防医学センター・教授
②1944年11月22日
③東京大学医学部卒業、医学博士
④心不全、虚血性心疾患
⑤東京大学医学部第二内科講師、埼玉医科大学教授
⑧日本内科学会認定医、日本循環器学会認定循環器専門医

附属三田病院



洪秀樹
(こう・ひでき)

①附属三田病院内科・教授
②1947年3月27日
③東京医科大学医学部卒業、医学博士
④内科、糖尿病代謝
⑤国立循環器病センター内科動脈硬化代謝臨床栄養部門医長
⑦動脈硬化リスクファクター集積のメカニズムの解明
⑧日本臨床栄養学会評議員、日本動脈硬化学会評議員など

附属三田病院



関根勇夫
(せきね・いさお)

①附属三田病院小児科・教授
②1939年9月11日
③東京医科大学医学部卒業、医学博士
④小児科学、小児血液腫瘍学
⑤防衛医科大学校副校長・付属病院長、防衛医科大学校名誉教授
⑦外来診療における小児熱性疾患の早期鑑別法の確立、小児慢性疾患のQOL
⑧日本臨床血液学会評議員、日本小児がん学会評議員、日本小児科学会代議員など

附属三田病院



保科清
(ほしな・きよし)

①附属三田病院小児科・教授
②1941年5月20日
③千葉大学大学院修了、医学博士
④小児感染症学、小児内分分泌学
⑤東京通信病院小児科部長
⑦小児細菌感染症の予防、早期診断、治療学
⑧日本小児科医会副会長、レンサ球菌感染症研究会会長など

附属三田病院



高山豊
(たかやま・ゆたか)

①附属三田病院精神科・教授
②1948年10月7日
③東京医科大学医学部卒業、医学博士
④痴呆性疾患
⑤国立精神・神経センター武蔵病院もの忘れ外来開設責任者
⑦軽度認知障害の早期診断と治療法の開発
⑧精神保健指定医、日本老年精神医学会認定専門医

附属三田病院



池田徳彦
(いけだ・のりひこ)

①附属三田病院呼吸器センター副センター長・教授
②1960年11月16日
③東京医科大学大学院修了、医学博士
④肺癌の外科治療
⑤東京医科大学外科1講座講師
⑦肺癌の集学的治療、肺癌の早期診断、内視鏡的蛍光診断
⑧日本胸部外科学会・呼吸器外科学会・指導医・専門医・評議員、世界気管支学会理事など

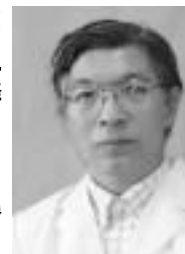
附属三田病院



鎌田信悦
(かまた・しんえつ)

①附属三田病院脳神経外科センター長・教授
②1946年3月28日
③北海道大学医学部卒業、医学博士
④頭頸部癌、頭頸部外科、頭蓋底外科、
⑤財団法人癌研究会附属病院頭頸部部長
⑦頭頸部癌の機能改善手術の開発、頭頸部癌における顔面形態維持再建術の開発、頭頸部癌のチーム医療
⑧日本頭蓋底外科学会理事、日本頭頸部癌学会理事など

附属三田病院



篠永正道
(しのなが・まさみち)

①附属三田病院脳神経外科・教授
②1946年12月7日
③横浜市立大学卒業、医学博士
④脳神経外科一般、脊椎・脊髄外科
⑤平塚共済病院診療部長
⑦脳脊髄液減少症の病態、診断と治療、脳血管障害における電気刺激治療の応用
⑧日本脳神経外科学会評議員、日本ニューロモデュレーション学会評議員

リハビリテーション学部



杉原甫
(すぎはら・はじめ)

①リハビリテーション学部・教授
②1939年7月8日
③長崎大学医学部卒業
④病理学、細胞生物学
⑤佐賀大学医学部・病理学教授
⑥解剖学実習、解剖学
⑦癌の細胞生物学、脂肪細胞の細胞生物学
⑧日本肥満学会理事

臨床医学研究センター・山王病院



川合陽子
(かわい・ようこ)

①山王病院臨床検査部長・予防医学センター・教授
②1948年4月27日
③慶應義塾大学医学部卒業、医学博士
④臨床血液学、検査血液学、臨床検査医学
⑤慶應義塾大学医学部中央臨床検査部助教授
⑦予防医学や血液疾患における検査の標準化
⑧日本検査血液学会幹事・評議員、日本臨床検査医学会評議員など

臨床医学研究センター・化学療法研究所附属病院



小中千守
(こなか・ちもり)

①化学療法研究所長・同研究所附属病院副院長・教授
②1949年2月12日
③東京医科大学外科学大学院修了、医学博士
④呼吸器外科
⑤東京医科大学第一外科助教授
⑦低侵襲な呼吸器病手術、各種呼吸器内視鏡を用いた肺癌の診断、治療、各個肺癌に適した化学療法法の選択
⑧日本呼吸器外科学会理事、The Best Doctors in Japan (2004〜5呼吸器外科領域) など

臨床医学研究センター・国際医療福祉病院



斎藤建
(さいとう・けん)

①国際医療福祉病院病理・教授
②1940年3月30日
③東京大学大学院修了、医学博士
④病理診断学
⑤前自治医科大学病理学教授、現自治医科大学名誉教授
⑦治療に直結した病理診断
⑧日本病理学会名誉会員

臨床医学研究センター・国際医療福祉病院



村上厚文
(むらかみ・あつふみ)

①国際医療福祉病院心臓血管外科・教授
②1956年4月2日
③昭和大学外科学大学院修了、医学博士
④心臓血管外科全般、先天性心疾患、静脈血栓・塞栓症、抹消血管に対するカテーテル・インターベンション
⑤昭和大学第一外科講師、戸塚立第二病院院長
⑥生命倫理
⑦外科学とカテーテル・インターベンション、先天性心疾患と刺激伝達系
⑧日本胸部外科学会指導医、日本外科学会指導医、日本循環器学会専門医、カイロ大学客員教授

山王メディカルプラザ



岡野憲一郎
(おかの・けんいちろう)

①山王メディカルプラザ精神神経科・教授
②1956年5月3日
③東京大学大学院修了、医学博士
④精神分析、精神療法、薬物療法
⑤一陽会陽和病院、聖路加国際病院
⑦精神医学的な知識を身に付け、力動的な視点をもつことで心理的、生物学的アプローチが出来るような心理療法家を育成すること。
⑧米国一般精神科専門医、精神分析家(米国精神分析学会認定) など

小田原保健医療学部



田中富久子
(たなか・ふくこ)

①小田原保健医療学部学部長予定者・教授
②1939年4月29日
③横浜市立大学大学院医学研究科修了、医学博士
④生理学、神経内分分泌学、脳科学
⑤横浜市立大学大学院医学研究科教授、横浜市立大学医学部長
⑦性差医学、性差医療
⑧日本神経科学学会監事、日本神経内分分泌学会理事など

小田原保健医療学部設置準備委員長 就任にあたって

国際医療福祉大学教授

田中(貴邑) 富久子

このたび、4月1日付で、国際医療福祉大学教授、小田原保健医療学部設置準備委員長を拝命いたしました。以来、大田原や小田原に行くとき以外は、乃木神社のすぐそばの、東京事務所に通っています。

私は、横浜市立大学医学部に入学以来ほとんど半世紀(約48年間、横浜を拠点として、しかも車で生活してきましたので、JR線で東京駅に来て地下鉄で乃木坂駅へという生活がとても新鮮で、適度に緊張感があって、結構楽しませていただいています。理事長に感謝しています。さて、私は、横浜という小田原に至近

の地域、さらに神奈川県をテリトリーにもっているという点がかわれたと思えますが、この1年間、本学が構想中だった小田原保健医療学部の設置準備を主たる任務とすることになっています。

早速の仕事は、小田原医師会の先生など関係諸機関へのご挨拶でした。そして4月14日には校舎の起工式が行われました。その後は、看護学科、理学療法学科、作業療法学科の学科長予定者と事務方とで準備委員会を設け、2週ごとに準備委員会を開いています。5月31日には、学部設置について届出が認可申請の事前相談書類を文部科学省に提出し、6月15日に届出でよろしいとの返事をうけました。同時に、カリキュラムづくり、教員候補者の面接、広報などがあわただしく行われてきました。私も、小田原の商工会議所や横浜のホテルで行われた大学説明会に出席しました。小田原の新学部の人気の高いことに、ほっとしているとこ

このように、就任後4カ月間は、今まで経験したことのない、看護師、理学療法士、作業療法士の養成という領域に踏み込んだものでした。目新しいことばかりを見聞きし、脳をたっぷりと刺激しました。しかし、こればかりで過ぎたというわけではありません。私の研究課題は、脳、とくに脳の性差ですが、横浜市大時代から続く研究と社会活動という仕事に関しても、この東京事務所を拠点としてかなり定着させていただきました。

横浜市大の定年退職後、少しはゆっくりとした時間を過ごしてから次の人生をはじめるとか知人たちは考えていたようです。しかし、4月1日からはじめてしまった生活は、当初は適応できるのか、自身でも不安がありました。理事長をはじめ、良い方々にかこまれて、楽しいものと思えるようになっていきます。これからも頑張るつもりですので、よろしくお願いたします。

トピックス

TOPICS

第十回運動会開催

TOPICS

第十回運動会が、五月二十八日（土）、大田原本校のグラウンドで開催された。

前夜の激しい雷雨も夜半には上がり、絶好の運動会コンディションとなった。

午前九時半前には、初参加となった新設の薬学部薬学科（PS）を含む参加者ほぼ全員がグラウンドに集合し、本学運動会史上初めて定刻の開催となった。また、障害児を持つ親の会「ひよこの会」（大田原市）と知的障害者厚生施設「太陽の里」（那須塩原市）の皆様も参加もあり、観客と参加者は二〇〇〇人を超え、これも新記録となった。

午前中は、「一輪車リレー」（二輪のキャリアに一人を乗せて二人が押しながら走る）、「馬跳びリレー」「Let's carry バル



応援合戦で繰り広げられた看護学科（上）と理学療法学科の演技

ーン（膨らませた風船を二人で竹の棒に挟んで走る）、「俺についてこい（目隠しムカデ競争）」「大玉コロコロ（大玉転がし）」の順に行われ、これも珍しいことで、競技はほぼ時間通りに進行した。

昼休みには、各学科がそれぞれ趣向をこらして応援合戦を繰り広げ、揃いの法被（はっぴ）で「よさこいソーラン」を踊った看護学科（NS）と、クラシックパンツ（褲「ふんどし」）をりりしく締め、演技をした理学療法学科（PT）にひときわ大きな声援が寄せられた。

午後は「とべとべ三分間ジャンプ（集団縄跳び）」「綱引きダッシュ」に続き、最後に「大逆転、学科対抗リレー」が行われた。そして、大逆転リレーの名前通りに、PTを医療経営管理学科（HM）が土壇場で捉え、PTの連覇を阻んだ。

今大会では、過去にあまり成績が振わなかった言語聴覚学科（ST）と視機能療法学科（ORT）、さらには、一学年だけのPSの健闘が目立った。なお、中西学科長以下教員の参加が最も多かったNSは、残念ながら最下位となった。

成績は、一位HM、二位PT、三位RT、四位OT、五位ST、六位ORT、七位PS、八位HS、九位NS。古谷遼子実行委員長（PT三年）他、六十五名の実行委員のみなさん、大変ご苦勞様でした。

（学生部長 伊藤元信

看護学科で第一回 新入生オリエンテーションツアー

TOPICS

五月十四日（土）、栃木県那須塩原市の大島フォーラムにおいて、第一回目の看護学科行事としてオリエンテーションツアーが開催された。これは、看護学科の新入生が新しい環境に「速やかに適応できるよう促す」ことを目的としている。今回の参加者は、新入生一一一名、看護学科教員一九名であった。

まず、中西睦子学科長が、今回の催しはこれからの学習を方向づけるものであることを、キャンプでのテント張りの体験などのユーモアを交えてお話しされた。また、新入生が今後の大学生活を自分たちでしっかりつくりあげていくよう期待している旨が伝えられた。

続いて行われた親睦セッションでは、印象に残る上手な自己アピールができるように、グループのメンバーを入れ替えながら自己紹介の内容を洗練させていく試みを行った。話すうちに迷スピーチが飛び出し、緊張していた学生の顔もほころんで、会場は和やかな雰囲気包まれた。

午後からは、そば打ち、饅頭づくり、陶器づくり（てびねり）の三班に分かれ、それぞれが創造的な作業に取り組んだ。いずれの作業にもインストラクターがつき、見事なプロの技をみせてくれた。さて、学生たちの成果はいかがだっただろうか？ 参加した学生たちは、大きな満足感をもって帰路についた。

（看護学科講師 阿部智恵子

平成十六年度国家試験合格率 ☆七年連続100%の理学療法士

TOPICS

平成十六年度各種国家試験の受験結果がまとまった。

理学療法士試験の合格率は七年連続の100%で、開学以来一度も不合格者を出していない。新卒者による合格率が三年連続100%である助産師をはじめ、各試験とも高い合格率となっている。

（本校事務局 教務課

平成16年度 国家試験等受験結果

受験区分	本学			全国平均		
	受験者数(名)	合格者数(名)	合格率	受験者数(名)	合格者数(名)	合格率
保健師	119	91	76.5%	9,134	7,440	81.5%
助産師	6	6	100.0%	1,624	1,619	99.7%
看護師	118	114	96.6%	48,299	44,137	91.4%
理学療法士	100	100	100.0%	5,102	4,843	94.9%
作業療法士	97	95	97.9%	3,893	3,442	88.4%
言語聴覚士	86	77	89.5%	1,812	1,012	55.8%
診療放射線技師	110	95	86.4%	2,606	1,868	71.7%
社会福祉士	117	81	69.2%	41,044	12,241	29.8%
精神保健福祉士	22	21	95.5%	6,711	4,111	61.3%

（注）本学の合格率は新卒の合格率。全国平均には既卒者も含む。

言語聴覚センターで ミニセミナー開催

TOPICS

国際医療福祉大学クリニック言語聴覚センターでは、県北を中心とした医療福祉の関連機関に勤務するさまざまな職種の方々、一般の方々とともに、学び交流する場として、今年度もミニセミナーを開催している。

第一回ミニセミナーでは五月十日に、本学言語聴覚学科の講師である西尾正輝先生をお招きして、「嚥下障害のある人の支援」と題して講演いただいた。今回は、医師、大学教員、保育士、言語聴覚士、学生など五十名の参加があった。西尾先生からは、嚥下障害とその支援について専門的なことから家庭ですぐに実践できることまでユーモアたっぷりに講演していただき、参加者は熱心に聴き入った。質問も多数飛び交い、大変好評だった。

また第二回ミニセミナーでは、七月十二日に、筑波大学大学院教育研究科 廣田栄子先生をお招きし、「幼児の難聴について」と題して講演いただいた。

（言語聴覚センター言語聴覚士 高林瑞穂

今後の講演予定

●九月六日（火）「高齢者の難聴と補聴器（仮題）」

●十一月一日（火）「外国語の習得メカニズム（仮題）」

●一月十日（火）「認知症について（仮題）」

●二月七日（火）「小児の構音障害（仮題）」

国際交流親善パーティー ～留学生との集い～開催

TOPICS

本学の那須アスリーナで、六月十五日「国際交流親善パーティー」留学生との集い」が開催された。

千保一夫大田原市長、後藤秀雄大田原国際交流会会長などを迎え、留学生、ホストファミリー、そして谷修一学長、長谷川豊国際交流センター長兼国際部長をはじめとする多数の教職員が交流した。

乾杯の後、留学生会会長の張永勝君が流暢な日本語で挨拶し、留学生一人一人が個性溢れる自己紹介をした。

交流プログラムでは、大学院修士課程二年の堤堀内カロリーナさやかさんによるパラグアイのダンス、楊卓剣君のお笑い、看護学科二年のトトさんによるミヤンマーでの結婚式の上映と解説、さらに長谷川ふみ子先生による卒業生のネパールでの結婚式の様子などが披露され、始終笑いの絶えない和やかな会となった。

（東京事務所出版広報室 藤井三枝子



日本語や英語で自己紹介をする留学生。

【お問い合わせ】言語聴覚センター
電話 〇二八七（二四）一一三三
ファックス 〇二八七（二四）一〇〇三
担当 高林・内海・後藤・落合

日本理学療法士学会大会開催 ☆丸山学科長12年連続理事に

TOPICS

五月十七日～五月二十八日の三日間、大阪国際会議場（グランキューブ大阪）にて、第四〇回日本理学療法士学会大会が開催された。年一回行われるこの大会には、全国から多くの人が参加し、日頃の研究成果を発表し、臨床上の種々の問題、課題などについて意見を交換し合う。

今大会のテーマは「臨床的感性からの創造」と題され、研究発表は一二四二演題（口述二九九演題、ポスター九三二演題、ビデオ一一演題）と、過去最高だった。会場は、互いに面識のない人達が活発に質問したり、意見を交換し合い活気にあふれた。本学教員や関連職員、卒業生・修了生による発表も多くなされ、久しぶりの対面で、発表内容に留まらず、懐かしい話題や近況を伝え合うなど楽しい会話の弾む光景があちこちでみられた。

また日本理学療法士協会役員選挙も行われ、本学の丸山仁司学科長が十四名の理事の中トップ当選された。連続十二年の理事、さらに引き続き理学療法士協会副会長にも就任された。丸山学科長は持ち前のバイタリティーで本学のみならず理学療法士協会の発展にも大きく貢献されている。（理学療法学科 藤井菜穂子

日程	講師	所属等	テーマ
8/1 (月)	熊野 信雄	放射線・情報科学科	体内を診るガンカメラ
	菊地 義信	放射線・情報科学科	音声の生成機構と電気式人工喉頭
	金場 敏憲	放射線・情報科学科	医療を身近に
8/2 (火)	宇賀 茂三	視機能療法学科	水晶体はなぜ濁る－白内障の発症機序－
	佐藤貴一郎	医療経営管理学科	医療はどんなサービスか
	加藤 尚子	医療経営管理学科	「ブラックジャック」と「赤ひげ」
8/3 (水)	鈴木 五郎	医療福祉学部学部長	日本社会の未来像と社会福祉
	式 恵美子	医療福祉学科	介護予防とねたきり予防
	大石 剛史	医療福祉学科	ボランティアという生き方
8/8 (月)	丹羽 章	基礎医学研究センター	AIDS－新しい感染症はどうして現れるのか－
	大久保真人	基礎医学研究センター	第3の脈管、リンパ管って何？
	神山 隆一	基礎医学研究センター	白血病の話
8/9 (火)	長谷川 薫	基礎医学研究センター	細胞培養「生きた細胞をシャーレで育てる」
	佐藤 郁夫	国際医療福祉病院院長	女性と性

平成十七年度の「ニッセイ同和損害保険株式会社奨学生」十名、および「国際医療福祉大学奨学生」二十四名が、厳正な審査の結果、以下のように決まった。

六月十四日、国際医療福祉大学奨学生の表彰式が大学本校で行われた。この制度では、年間授業料の半額が免除される。

本年度も、「保健医療福祉へのみち」をテーマに、五～八月までに計三〇講座が開講。杉原素子保健学部長の「障害を持つ人たちから教えられたこと」をはじめ、これまでに見てきた「看護学科、理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、医療経営管理学科」の本学教授陣による講義が終了した。七〇名前後の生徒たちが熱心に聴講している。

本校では、地域の方や学生・教職員向けに、公開講座「岩波映画作品によるドキュメンタリー映画上映館」を開講している。映画監督で本学客員教授である諏訪淳先生によるプロデュースで、後期は十月より開講。秋の夜長に、楽しみながら知性を磨いてみてはいかがだろうか。上映日程と作品は左記のとおり。いずれも一八時一〇分開始。

大田原女子高校と連携事業 「保健医療福祉へのみち」

公開講座 「ドキュメンタリー映画上映館」

【お問い合わせ】
本校事務局総務課
電話〇二八七（二四）三〇〇〇

	日 程	作 品
前期	第1回 4/27	①日本の食文化～日本料理とてなしの心(監督・山崎博紹、1996年) ②中国の食文化～庶民の味・宮廷の味(監督・重森良崙、1985年)
	第2回 5/25	①法隆寺(監督・羽仁進、1958年) ②法隆寺献納宝物(監督・羽田澄子、1971年)
	第3回 6/29	①南部杜氏(監督・諏訪淳、1988年) ②杜氏たちの春～さつま本格焼酎をつくる(監督・諏訪淳、1979年)
後期	第4回 10/26 (予定)	①素敵なお産をありがとう(監督・藤本孝明、諏訪淳プロデュース、1992年) ②二ホンザル母の愛～モズの子育て日記(監督・岩崎雅典、1987年)
	第5回 11/30 (予定)	○薩摩盲僧琵琶(監督・諏訪淳、1983年)
	第6回 12/21 (予定)	①歌舞伎の魅力・舞台(監督・羽田澄子、1981年) ②絵図に唄ぶ江戸のくらし(監督・時枝俊江、1978年)



多くのヒット曲で知られる北原ミレイ（写真左、と作詞の諏訪監督・当時）が映画主題歌「盲僧琵琶を追いかけろ」を唄う。（一中略一）一種悪魔（デモン）的な魅力が不可分にからみあう、超絶的な歌詞である。（1999年11月13日付 朝日新聞文化欄より）【注】映画は諏訪淳監督「薩摩盲僧琵琶」（1983年製作、岩波映画作品）。

諏訪 淳（すわ・あつし）

映画論担当。映画監督、日本伝統文化福祉振興協会副理事長、元（株）岩波映画製作所代表取締役社長、（社）映像文化製作者連盟理事。

音の感情は、最も詩的で抽象的な位置にあるが、その音によってこそ映画に強烈な印象が伝わり、心理が具現化されるのだ。

「この想いも私に深く浸透している。人間の精神面に多大な影響をあたえ、心の中に深く刻み込まれて人生への余韻となり、自分に迫って来る音も少なくない。従って、映画のなかで表現する音の世界は、映像と相まって重大な意味合いを持ち、構成する時間帯のなかで映像と音の駆け引きがなされ、完成される経過をたどる。私が常に思っている製作上の信念……それは、『ウソを描いて真実を語る』と心に決めている。ウソ＝嘘とは、現実をとらえて心中での係わりをよりの確にする為、自身の想いを誇張し、表現することだ。これが私の言うウソである。」

また、『映画のテーマは追いかけろもの、撮ってほらない』、この想いも私に深く浸透している。テーマは、つくり手の主張であり、意欲をかき立てる要因であるが、テーマに集中するあまり、主題のみを表現し、周りに起こる現象を見過している。これでは全体の構成のなかで深みが薄れ、テーマが強調できない結果となる。このことを意図した言葉である。

映画での音、それは、せりふ・ナレーション・音楽・現実音・効果音・主題歌など……。音は映像との戦いでテーマを追いかけ、強烈にウソの世界を表現し、そのことで『真実をアピール』する力を持っている。

例えば、映像の編集作業が終わって、『音付け』の段階に入った時点で、監督は作曲家と音楽を決めてゆく。この時、テーマにと

らわれると、その曲に幅や深みが現れてこない。だから直接的な言葉ではなく、『感情の氾濫』とか『地底からの問いかけ』などといった、抽象的な言い回しで話し合う。当然、テーマは追いかけているのだから音楽のイメージは湧いてくる。

多くのヒット曲で知られる北原ミレイ（写真左、と作詞の諏訪監督・当時）が映画主題歌「盲僧琵琶を追いかけろ」を唄う。（一中略一）一種悪魔（デモン）的な魅力が不可分にからみあう、超絶的な歌詞である。（1999年11月13日付 朝日新聞文化欄より）【注】映画は諏訪淳監督「薩摩盲僧琵琶」（1983年製作、岩波映画作品）。

平成十七年度奨学生決定

平成十七年度の「ニッセイ同和損害保険株式会社奨学生」十名、および「国際医療福祉大学奨学生」二十四名が、厳正な審査の結果、以下のように決まった。

ニッセイ同和損害保険株式会社奨学生

東京都中央区のニッセイ同和損害保険会社本社ビルにおいて、五月三十一日、同社の岡崎会長、須藤社長、本学の谷学長、開原副学長、伊藤常務理事の列席のもと、同奨学生の認証式が行われた。

この奨学金制度は、保健、医療、福祉の有為な専門職の育成をめざす本学の趣旨に賛同した同社により、創立一〇〇周年記念事業の一環として平成九年に設けられた。奨学金は、原則として卒業まで支給され、返還の必要はない。

この制度により、今年度までに合計七十二名の学生が学んでいる。なお、今年度の応募者は二六名だった。

奨学生氏名

【理学療法学科】	田中惣治（二年）	【放射線・情報科学科】	町田望美（三年）
【作業療法学科】	西川由希子（二年）	【医療経営管理学科】	原田晃子（二年）
【言語聴覚学科】	王 東（二年）	【医療福祉学科】	上野晃司（三年）
【看護学科】	伊藤彰子（二年）	【基礎医学研究センター】	森島真弓（二年）
【国際医療福祉大学】	木村美奈子（二年）	【基礎医学研究センター】	尹 笑英（二年）

看護学科、視機能療学科の学生の応募はなかった。新設の薬学部、リハビリテーション学部の学生は、次年度から選考の対象となる。

国際医療福祉大学奨学生

六月十四日、国際医療福祉大学奨学生の表彰式が大学本校で行われた。この制度では、年間授業料の半額が免除される。

奨学生氏名

【看護学科】	関口由里里（四年）	【放射線・情報科学科】	原田 潤（四年）
【理学療法学科】	宮崎 恵（三年）	【医療経営管理学科】	室橋歩美（三年）
【作業療法学科】	秋山文子（二年）	【言語聴覚学科】	高橋 良（二年）
【言語聴覚学科】	桑田康行（四年）	【看護学科】	深瀬明子（四年）
【看護学科】	村井益寛子（三年）	【基礎医学研究センター】	田澤聖子（三年）
【基礎医学研究センター】	川野美穂（二年）	【基礎医学研究センター】	小島庸子（二年）
【基礎医学研究センター】	川原和之（四年）	【基礎医学研究センター】	森嶋絵理（四年）
【基礎医学研究センター】	三浦亜希（三年）	【基礎医学研究センター】	鈴木規子（三年）
【基礎医学研究センター】	中川真理（二年）	【基礎医学研究センター】	張 永勝（二年）
【基礎医学研究センター】	内川茉莉（四年）	【基礎医学研究センター】	古村美佳（四年）
【基礎医学研究センター】	小俣健太郎（三年）	【基礎医学研究センター】	上田有紀（三年）
【基礎医学研究センター】	小林彩佳（二年）	【基礎医学研究センター】	福本正啓（二年）

新設の薬学部、リハビリテーション学部の学生は、次年度から選考の対象となる。

本学には、ほかに国際医療福祉大学教育後援会による奨学金など各種制度がある。「学生生活の手引き」を参照するか、学生課の窓口まで。

（学生課 宮下貞恵）

平成17年3月31日			
科目	本年度末	前年度末	増減
資産の部			
固定資産	33,556,912	29,826,243	3,730,669
有形固定資産	32,774,981	27,233,467	5,541,514
土地	11,376,273	10,919,443	456,830
建物	11,892,980	8,110,189	3,782,791
構築物	592,114	562,493	29,621
教育研究用機器備品	4,927,471	3,800,070	1,127,401
その他の機器備品	1,255,157	1,149,586	105,571
図書	331,602	271,306	60,296
車輛	10,484	14,929	△ 4,445
建設仮勘定	2,388,900	2,405,451	△ 16,551
その他の固定資産	781,931	2,592,776	△ 1,810,845
流動資産	9,083,277	7,242,267	1,841,010
現金預金	7,259,680	6,264,538	995,142
預け金	205,250	0	205,250
貯蔵品	240,364	83,585	156,779
未収入金	1,283,547	882,723	400,824
仮払金	37,896	690	37,206
立替金	3,132	904	2,228
前払金	53,408	9,827	43,581
資産の部合計	42,640,189	37,068,510	5,571,679
負債の部			
固定負債	3,108,120	2,857,279	250,841
流動負債	9,013,392	5,364,989	3,648,403
負債の部合計	12,121,512	8,222,268	3,899,244
基本金の部			
第1号基本金	30,995,681	27,195,228	3,800,453
第2号基本金	67,913	76,852	△ 8,939
第4号基本金	685,000	526,000	159,000
基本金の部合計	31,748,594	27,798,080	3,950,514
消費収支差額の部			
翌年度繰越消費収支超過額	0	1,048,162	△ 1,048,162
翌年度繰越消費収支超過額	1,229,917	0	1,229,917
消費収支差額の部 合計	△ 1,229,917	1,048,162	△ 2,278,079
負債の部、基本金の部 および消費収支差額の部 合計	42,640,189	37,068,510	5,571,679
(単位:千円)			

平成16年度

国際医療福祉大学決算報告

平成16年度は、薬学部、リハビリテーション学部の開設に向けて積極的な設備投資をいたしました。この財源は自己資金を中心としたもので、基本金組入前の消費収支差額は16億7200万円と財務健全性に配慮したものとなっています。（経理部長 杉尾信博）

本年度 前年度			
平成16年4月1日 平成15年4月1日			
平成17年3月31日 平成16年3月31日			
科目	本年度	前年度	増減
消費収入の部			
学生生徒等納付金	4,710,709	4,482,266	228,443
手数料	222,092	159,981	62,111
寄付金	1,522,061	540,932	981,129
補助金	1,309,637	2,588,859	△ 1,279,222
資産運用収入	10,912	42,534	△ 31,622
事業収入 (うち医療収入)	4,408,479 (4,262,958)	3,574,092 (3,498,047)	834,387 (764,911)
雑収入	40,657	100,320	△ 59,663
帰属収入合計	12,224,547	11,488,984	735,563
基本金組入額	△ 3,950,513	△ 2,323,288	△ 1,627,225
消費収入合計 (a)	8,274,034	9,165,696	△ 891,662
消費支出の部			
人件費	4,815,197	4,217,265	597,932
教育研究経費 (うち医療経費)	3,589,060 (2,000,097)	2,845,978 (1,550,414)	743,082 (449,683)
管理経費	2,074,094	1,737,605	336,489
借入金等利息	71,762	63,320	8,442
資産処分差額	0	155,682	△ 155,682
徴収不能引当金繰入額	2,000	0	2,000
消費支出合計 (b)	10,552,113	9,019,850	1,532,263
消費収支差額 (a)-(b)	△ 2,278,079	145,846	△ 2,423,925
(単位:千円)			

※顕差は四捨五入による。

高木病院 (臨床医学研究ゼミ)

高木病院は明治四三年に高木眼科として開院し、九五年を経た現在、常勤医師六〇名、病床数五〇六床の急性期病院として地域の基幹医療機関となっている。建物には本館（一階建）と新館（二〇階建）ほか二棟からなり、本館の最上階にあるレストランオーヴからは、有明海と筑後平野の美しい景色を望める。

診療科は精神科を除く全ての科を有し、16列マルチスライスCTなど最新医療機器を整備するなど、医療の専門性を高めている。昨年には電子カルテを導入した。また、人間ドック、産業健診、不妊センターなどの充実をはかり、特に不妊センターでは、多胎妊娠防止など高木病院独自の取り組みを行い、患者様の目線に立った医療を心がけている。さらに、臨床研修指定病院として、現在一六名の新人医師の研修を行っている。

今後も、患者様に安らぎと安心を感じていただくことを第一義に、地域に貢献していききたい。（人事総務課 椎野尚志）

お知らせ

●高邦会・高邦福祉会・高木学園・国際医療福祉大学合同夏まつり開催

日時 七月三〇日(土) 一八:三〇～
場所 国際医療福祉大学大川キャンパス

●糖尿病教室開催
＊バイキング形式の栄養指導

日時 八月八日(月) 一一:〇〇～

■高木病院 外来診療体制表 平成17年7月1日現在

【本館一階】		月 火 水 木 金 土										備考
診療科	診察医	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
歯科口腔外科	中村 芳明(部長)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	劉 文憲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	古場 朗洋(非常勤)			○	○							
【本館二階】		月 火 水 木 金 土										備考
診療科	診察医	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
内科	山本 匡介(部長)	○	○			○						◎専門診療 ★予約のみ
	福島 範子(部長)	○	○				○					
	藤松 里実			○	○							
	阿座上 聖史		○	○								
	小野 恭裕(部長)	○		○		○						
	名和田 新(非常勤)							○				
	坂本 竜一(非常勤)							○				
呼吸器科	中原 快明(部長)	○								○		★予約のみ ◎専門診療
	内藤 恵子(部長)		○									
	田中 彰	○		○				○				
	田尾 朋子					○				○		
血液内科	平田 誠治(部長)	○	○		○			○				◎専門診療 △第一・三・五
	富樹 りか(非常勤)			○								
	福島 伯崇(非常勤)											
心療内科	岡本 敬司(部長)		○		○	○		○				◎専門診療 ◎完全予約制 ★新患のみ
	鎌江 大(部長)		○		○	○		○				◎専門診療 ★新患のみ
リウマチ膠原病	長澤 浩平(非常勤)											△第二のみ
	大田 明英(非常勤)											△第四のみ
	多田 芳史(非常勤)			○								
	宮原 穂積(部長)		○									◎専門診療
腎臓内科	岸 智恵(部長)					○						
	豊澤 徳行(部長)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
泌尿器科	宮原 茂(非常勤)		○							○		
	富安 克郎(非常勤)					○						
	江口 善朗(非常勤)	○										
脳疾患センター	田中 薫(センター長)		交代					○				▲第一・三 □第二・四
	中原 公宏(部長)			○	○			○		○		
	遠藤 智代子(部長)	○		○	○			○		○		
	村岡 昭裕							○				
	弓削 龍雄(非常勤)											▲
	山内 豊明(部長)		○			○		○		○		
整形外科	永嶋 寛(部長)	○								○		
	福嶋 信広		○			○						
	白浜 正博(非常勤)							○				
	那須 賢司(部長)		○	○		○						
外科	檜垣 賢作(部長)							○				
	鳥越 昇二郎	○	○									
	植野 光俊			○	○							

※都合により、診察日・時間の変更がある場合がございますのでご確認の上、ご来院ください。
医療法人社団高邦会 高木病院 〒831-0016 福岡県大川市通見141番地11

【本館三階】		月 火 水 木 金 土										備考
診療科	診察医	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
消化器内科	西田 宏二(部長)			○								
	森田 秀祐(部長)	○									○	
【本館五階】		月 火 水 木 金 土										備考
診療科	診察医	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
産婦人科 不妊センター	小島 加代子(部長)	○	○	○	○			○	○	○	○	△第二のみ ▲佐賀大学 Dr(不定期)
	野見山 真理(部長)	○	○	○	○			○	○	○	○	
	有馬 薫	○	○			○	○	○	○	○	○	
	藤井 毅	○	○			○	○	○	○	○	○	
	藤井 麻衣子	○	○	○	○			○	○	○	○	
	岩坂 剛(非常勤)			△								
	非常勤医師	▲	▲									
【新館二階】		月 火 水 木 金 土										備考
診療科	診察医	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
眼科	中林 奈美子(部長)	○	○	○	手術		○	手術	○			■第一・三・五 ▲第二のみ □第四のみ
	相山 聡子	○	○	手術	○		○	手術				
	小林 博(非常勤)											
	大野 新一郎(非常勤)									▲		
小児科	小川 厚(部長)	★	★			★	○					■第二・四のみ ◎専門診療 ★新患
	相田 隆虎	○		★	○		○					
	安藤 万里子		○	○			★	○				
	二之宮 信也		○	○								
耳鼻咽喉科	高嶋 幸男(非常勤)		△									
	上坂 宏(部長)	○	○			○	○	○	○	○	○	
	石井 祐司(部長)			○	○					○	○	
【新館三階】		月 火 水 木 金 土										備考
診療科	診察医	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
循環器センター	堺 正仁(部長)					○				○		○再来担当 ○新患・紹介
	佐藤 恭一(部長)	○		○			○					
	吉田 敬規(部長)		○			○						
	松本 徳昭(部長)							○				
	大原 郁一(非常勤)											
形成外科	丸丸 英明(非常勤)		○	○								
	坂本 有孝(非常勤)							○	○			
皮膚科	鈴木 康之	○	○	○	○			○	○			△第一のみ
	上村 春子				手術	○	○			○	○	
	成澤 寛(非常勤)							△	△			

●診察時間
午前9:00～13:00
午後14:00～17:00
(ただし産婦人科は午後16:00まで)

●小児科時間外診療のご案内
17:00～20:00
月～金曜日(祝祭日除く)

詳細はホームページでも掲載しております <http://www.kouhoukai.org>

国際医療福祉病院 (臨床医学研究ゼミ)

「看護の日」にイベント実施

「看護の日」は、看護の大切さを一般の方に理解してもらうため、五月一二日と定められている。当院では毎年、「看護の日」にちなんだイベントを行っている。五月一日に、「妊婦体験」、「ドナルドショー」、「ふれあい看護体験」等の各種イベントが行われた。

妊婦体験は、お腹にベルトの重りを締めてもらい、妊婦さんの気持ちを味わってもらおうという企画。お父さんも参加でき(?!)、お母さんの苦しみを一瞬だけ味わった。

ドナルドショーでは、マクドナルドのマスコットであるドナルドがマロニエ苑と当院にて、歌や踊りのショーを行った。始めは怖がっていた子供たちもドナルドの軽妙な口と、軽快なアクションにどんどん引き込まれ、終いには一緒に踊ったり歌ったりして、楽しいひとときを過ごした。その後、病棟を訪問し、コミカルな演技で患者様の心をなごませた。

ふれあい看護体験には、五名の若者が参加した。初めて着る「看護服」に緊張しながら、病棟の患者様の給仕や話し相手などを通じて、看護業務のやりがいと大変さを実感したようだ。また、見学に訪れた新生児室(NICU)では、新生児のオムツを取り換えたり、沐浴の手伝いを行った。新生児の小ささにびっくりしながら、おぼつかない手で恐る恐る新生児を抱き上げていた。



ふれあい看護体験

短い時間だったが、「看護師の職業とはどういうものか?」を理解する助けになれば幸いだ。毎年参加者を募集しているので、興味のある方は来年、応募してみたいかがでしょうか?

(総務課 小林庸良)

診療のご案内		受付・診療時間	
受付		午前	午後
新患受付		午前 7:30～	午後 13:30～
診療		午後 14:00～	午後 17:00～
夜間救急外来		午後 14:00～	午後 17:00～
※ただし、急患は随時受け付けます。		午後 14:00～	午後 17:00～
※事前に電話で受付までお問い合わせください。		午後 14:00～	午後 17:00～
救急指定病院・臨床研修指定病院		午後 14:00～	午後 17:00～

山王病院 (臨床医学研究ゼミ)

基本に立ち返り 緊急時の訓練実施

五月一八日「ハリーコール」訓練を実施した。内容は、医師不在であっても誰でもが使用できるAED(半自動除細動器)の取り扱いと、赤坂消防署より訓練用的人形をお借りしての心肺蘇生法の実習であった。

当院においては、これまで病院のアメニティを重視するという観点から全館放送を行っていない。よほどの緊急時には、医師の手が必要となった時に「ハリーコール」をする取り決めになっている。

訓練の流れは、人形を「倒れて意識のない患者」に見立て、①発見したナースが「ハリーコール」を要請、②近くにいた放射線技師が事務室に連絡、③それを受けた事務職員が全館放送で「ハリーコール」を流す。一方、ナースは患者者にAEDを装着、器械のアナウンスに従って放電し、蘇生を開始するというもの。臨場感溢れる寸劇を見てもらった後、実践に移った。

当日は一二三名という多くの参加者があった。AEDについては、救命にあたって初動がいかに大切かを説明し、心肺停止状態の人が倒れている場面に遭遇したら確実かつ適切に行うことができるように実習した。交代で人形に蘇生を施し、会場は熱気であふれた。

医療従事者として、また病院職員として救急蘇生を行うことは必須である。救急隊員から「慣れた人でも、緊急時は力



熱心に耳を傾ける参加者



人形を使って心肺蘇生法

を十分に出し切れないものである」との言葉をいただき、できるつもりでも過信してはならず、今後も基本に立ち返る意味でも、継続的な訓練が必要であると認識した。

(看護部長 丸山和美)

テレビを見るなら、「医療福祉チャンネル774」

医療福祉チャンネル774では、衛星放送スカパーフェクTV! 774チャンネルで、医療・福祉・健康・介護に関する教育、教養、情報番組を放送!

国際医療福祉大学イブニングタイム公開講座

国際医療福祉大学では、毎年恒例となっている地域の方々を対象とした「イブニングタイム公開講座」を今年も開講しました。今年度は、「認知症（痴呆）高齢者を知り、支えるために～まちの中で皆が協力し合いながら支えるために～」をテーマに、大学教員の他に外部講師を招いて全8回実施、当チャンネルではこの模様を収録、放送します。テーマ・講師については、大学ホームページ（<http://www.iuhw.ac.jp/>）をご覧ください。



第1回講師：高山豊医師（国際医療福祉大学附属三田病院）

黒岩祐治のメディカルリポート

置き去りにされた患者たち・FOPの場合2

筋肉が骨化するFOP（進行性骨化性線維異形成症）の統編。FOPは原因・治療法がまだ見つからない難病ですが、国の特定疾患研究事業の認定を受けています。難病指定を受けるため、署名活動を行ったところ、半年で36万人以上の署名が集まりました。難病指定までにはどんな道のりがあり、患者とその家族は病気と戦いながらどのように向かっていくのでしょうか。



署名と要望書を厚生労働省健康局長に提出

国際医療福祉大学アワー

国際医療福祉大学の年間行事などを特集してお送りします。今月の特集は、「オープンキャンパス」。早いもので今年も、2006年度の入学試験に向け「入試相談会」や「体験入学」が始まりました。また、大学の講師陣を1人ずつピックアップし、その隠された素顔に迫る「先生オジャマします」のコーナーや、大学生活をエンジョイできるクラブ活動を紹介する「love club」など情報満載です。



オープンキャンパスの様子

読売新聞医療ルネサンス

読売新聞くらし面で、1992年9月から3500回以上にわたって連載が続く「医療ルネサンス」を映像化した番組です。病氣と闘う患者や医師たちを丹念に取材・撮影し、ドキュメンタリータッチの映像で医療現場の最新の動きを伝えます。また、連載を担当する読売新聞医療情報部の専門記者が出演し、的確で役に立つ解説を加えます。

司会：豊田順子アナウンサー（日本テレビ）



番組の一場面

●医療福祉チャンネルを見るには

「医療福祉チャンネル774」は衛星放送スカイパーフェクTV! の774チャンネルでご視聴いただけます。
ご視聴には、スカイパーフェクTV! 専用アンテナ&チューナーをお部屋のテレビにつなぐだけ!

- 視聴料・・・月額2,100円／法人契約・・・5,250円
 (このほか、**スカイパーフェクトTV[®]加入料**・・・2,940円(初回のみ)・**スカイパーフェクトTV[®]月額基本料**・・・410円がかかります。)
 ○IUHW 学生、マロニエ会会員、教育後援会会員の皆様は、特別視聴料の制度があります。下記までお問合せ下さい。

●視聴に関するお問い合わせは

フリーダイヤル 0120-870-774 (お客さま係) Eメール info@iryoufukushi.com ホームページ www.iryoufukushi.com

高木邦格理事長と 深田祐介氏の 対談が本に

『深田祐介の憂国十番勝負』
深田祐介著
(PHP研究所、2005年7月刊、
定価：本体1,300円)

◎高木理事長が各界随一の人物10人に名を連ね、「患者が快適に過ごせる病院」を深田氏と語り合う。

新学部情報・小田原保健医療学部(仮称)

IUHW Note

小田原駅隣接地の交通至便な都市型キャンパス!
〈看護学科・理学療法学科・作業療法学科〉

●高校教員・予備校関係者向け説明会（予定）

- ① 9/13 (火) 沼津東急ホテル (静岡県沼津市)
② 9/14 (水) 報徳会館 (神奈川県小田原市)
③ 9/15 (木) 横浜エクセルホテル東急 (神奈川県横浜市)
* 15:30~16:30 説明会・16:30~17:30 個別相談

●受験生・保護者向け説明会（予定）

- ① 1 0 / 3 (月) 小田原商工会議所 (神奈川県小田原市)
 ② 1 0 / 4 (火) 横浜エクセルホテル東急 (神奈川県横浜市)
 ③ 1 0 / 5 (水) 沼津東急ホテル (静岡県沼津市)
 ④ 1 0 / 6 (木) ホテルアソシア静岡ターミナル (静岡県静岡市)
 ⑤ 1 0 / 7 (金) ホテル ザ・エルシィ町田 (東京都町田市)
 ※ 14 : 00 ~ 18 : 00 (入退場自由、予約不要)

※他にもイベント開催予定。

【お問い合わせ】小田原保健医療学部設置準備室 ☎03-3475-7710

平成18年4月
神奈川県
小田原市に
新学部開設
予定
！

廣報誌IUHW62号
 発行：国際医療福祉大学
 編集部連絡先 出版広報室
 東京都港区南青山一―二四―一
 電話 〇三―三四七五―五〇六



デザイン・アイ・デプト